五観の偈

（食事の時、唱えることば）

一には功の多少を計り彼の来処を量る。

二には己が徳行の全欠を忖つて供に応ず。

三には心を防ぎ過を離るることは貪等を宗とす。

四には正に良薬を事とするは形枯を療ぜんが為なり。

五には成道の為の故に今此の食を受く。

（以上唱え終わって箸を取る）